

2022年度(令和4年度)  
学校関係者評価報告書

2024年(令和6年)1月15日

学校法人 中村学園  
国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

## 1. 学校関係者評価

### (1) 目的

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

### (2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

### (3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

### (4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

#### 【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

### (5) 評価期間

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）

### (6) 評価結果

- ①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。
- ②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

## 2. 学校関係者評価委員会

(1) 日 時：2024年1月16日 13:30-15:30

(2) 場 所：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校（学校法人中村学園）8号館ホテル実習室

(3) 参加者：学校関係者評価委員（及び学校事務局）

学校関係者評価委員会の構成

学校関係者評価委員 6名

(順不同 敬称略)

氏名	所属
今関 真治	千葉都市モノレール株式会社 総務部長
小亀 さおり	NPO法人 Aqua Dream Project代表
原田 正隆	千葉市民活動支援センター コーディネーター
横山 隆	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマーレ 総支配人
岩崎 正佳	(両総観光株式会社 成田営業所 営業課 課長)
木元 明佳	ANAスカイビルサービス株式会社 総務人事部 人事課

学校事務局 6名

氏名	所属
矢口 博士	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 校長・本部長
古川 博文	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 副本部長
北 和樹	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 学務室 室長
樫村 博恵	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 学務室
河下 和浩	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 就職室
栞原 和希	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 エアライン科 学科長

- (4) 内 容：・学校関係者評価の目的  
・自己評価に対する学校関係者評価  
・意見交換

## 3. 評価

(1) 評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

(2) 評価、意見、改善方策を記載する。

## 4. 評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

## 5. 評価項目の達成と改善方策

### (1) 教育理念・目標

評価項目			評価	意見・コメント
1	理念 目的 育成人材像	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	新コース設立について、検討から決定までの程度の期間をかけているか質問頂いた。(観光アウトドアコース・国際ホテルコース) ・検討を始めてからおおよそ1年間で募集を開始した。
2		教育目標、育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズに向けて方向づけられているか	3	
3		学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4	
4	特色ある教育活動	3		
5	将来構想	3		

項目評価 (平均) **3.4**

#### 【改善方策】

- ・社会のニーズと共に業界が求める人材のニーズを把握し、今後の教育に活かす。  
また、地域創生・貢献を行うことで、学生のホスピタリティマインドを育てていく。

### (2) 学校運営

評価項目			評価	意見・コメント
1	運営方針	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	コンプライアンスについて、災害その他事故等が発生した場合の初動が非常に重要となるため、教員がまず行動指針やルールを理解し、学生に対して徹底した指導を実施する必要があるとの意見を頂く。
2	事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	
3	運営組織	運営組織は文書等において明確化され有効に機能しているか	4	
4		意思決定プロセスは整備され機能しているか	3	
5		人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	
6	コンプライアンス	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	
7	情報公開	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	
8	情報システム	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	

項目評価 (平均) **3.6**

#### 【改善方策】

- ・災害や事故だけでなく、学生が課外授業で外部（企業）と関わる際も含め、コンプライアンス体制をわかりやすいものにしていき、学園に関わる人が統一した意識を持てるよう改善していく。

## (3)教育活動

		評価項目	評価	意見・コメント
1	目標の設定	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	職員のボトムアップを図るため、学園全体での研修に加え、オンライン受講システム(Schoo)を取り入れた。
2		教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	
3	教育方法評価等	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	
4		キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	
5		関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等が行われているか	3	
6		関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3	
7		授業評価の実施・評価体制はあるか	3	
8		職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
9	成績評価単位認定等	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
10	免許資格取得の指導体制	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	
11	教員教員組織	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	
12		関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなど取組が行われているか	3	
13		関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	
14		職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

項目評価(平均) **3.1**

## 【改善方策】

- ・オンライン受講システム(Schoo)の利用頻度は現状高いとは言えない状況。教育や学生対応その他有用性が高いカリキュラムを全体に周知し、利用頻度の向上と個々の能力引き上げを図る。

## (4)学修成果

		評価項目	評価	意見・コメント
1	就職率	就職率の向上が図られているか	4	特になし。
2	資格・免許の取得率	資格取得率の向上が図られているか	3	
3	卒業生 在校生の 社会的評価	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	
4		卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	
5	評価目標	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	3	

項目評価(平均) **3.0**

## 【改善方策】

- ・学校の推奨検定・資格について、検定マップを作成。在学中にどのような検定にチャレンジしていくか考える機会を作っていく。
- ・卒業生把握の一步として在学中にクラス委員の選出、集まりやすい学校単位かつ卒業後比較的早い時期に会を設けるなどしていく。

## (5) 学生支援

評価項目		評価	意見・コメント	
1	就職等 進路	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	各種（授業改善・学園生活）アンケートなどの結果をどのようにフィードバックしているか質問頂いた。  ・授業改善については、講師面談を実施した際に活用しているが、学園生活アンケートについては学生に対する見えるようなフィードバックができていない。
2	中途退学 への対応	退学率の低減が図られているか	3	
3	学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	4	
4		留学生に対する相談体制を整備しているか	4	
5	学生生活	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	
6		学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	
7		課外活動に対する支援体制は行われているか	4	
8	保護者 との連携	保護者との連携体制を構築しているか	4	
9	卒業生 社会人	卒業生への支援体制はあるか	3	
10		社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	
11	高校 との連携	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	

項目評価（平均） **3.5**

## 【改善方策】

- ・アンケートについては、経緯や結果のフィードバックを職員だけが把握するだけでなく、学生にもアンケートによる改善がわかるよう工夫していく。

## (6) 教育環境

評価項目		評価	意見・コメント	
1	施設 設備等	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	災害が増加しているため、教育の中に取り入れてみては。  国により地震がなく、経験したことがない学生（留学生）もいるため、訓練時によりわかりやすい日本語を用いて案内することが必要。
2		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3	
3	学外実習 インターン シップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	
4	防災 安全管理	防災に対する体制を整備し、適切に運用しているか	3	
5		学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	

項目評価（平均） **3.2**

## 【改善方策】

- ・防災備蓄品の見直しを行い、現在備蓄している物品（アルミブランケット・食事・水）に加えて携帯トイレ等も検討していく。
- ・留学生にも深く理解できるよう、ふりがなが書かれているマニュアルについてもより分かりやすく改善をしていく。

## (7) 学生の受け入れ募集

評価項目		評価	意見・コメント
1	学生募集活動	高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	特になし
2		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	
3		学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
4	入学選考	入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	
5	学納金	経費内容に対応した妥当な学納金であるか	
6		入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いをおこなっているか	

項目評価 (平均) **3.7**

## 【改善方策】

- ・高校生や保護者に対して、観光業界の現状を正しく伝え、業界や就職に関する不安を払拭できるよう、SNSまたは紙面の両方で伝達していく。

## (8) 財務

評価項目		評価	意見・コメント
1	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	特になし。
2	予算 収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	
3		予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	
4	監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	
5	財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価 (平均) **3.6**

## 【改善方策】

- ・引き続き、入学者の減少に対応すべく、教育の質を担保した上で、効率運営の意識を学内全体で持ちながら授業・学校運営を行っていく。

(9)法令等の遵守

評価項目		評価	意見・コメント
1	法令基準等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	特になし。
2	個人情報保護	学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか	
3	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか	
4		自己評価結果を公開しているか	
		項目評価 (平均)	3.5

【改善方策】

- ・個人情報の取り扱い並びに法令順守について、書類の取り扱い方法や使用システムを精査・刷新し、効率化を図りながらより強固な状態にしていく。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	意見・コメント
1	社会貢献 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校のみで実施している行事（スピーチコンテスト・仕事の学び場・キッズハッピー）を、地域と協力して実施できないか。
2		地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
3	ボランティア	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
		項目評価 (平均)	3.0

【改善方策】

- ・社会貢献や地域の取り組みを検討するにあたり、近隣の情報と社会的ニーズの把握に努める。

(11)国際交流

評価項目		評価	意見・コメント
1	留学生 受け入れ	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	留学生の受け入れについて、宗教に関わる施設的な配慮は行われているかと質問頂いた。
2		留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
3	留学生 指導	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
4		学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	
		項目評価 (平均)	3.5

【改善方策】

- ・留学生の入学者数が増加する見込みであり、学校内施設の整備と共に、宗教食を提供できる店舗などの情報も併せて収集していく。

## 7. 総評

自己評価・学校評価を行うにあたり、各部署から選出したメンバーにより多角的な意見交換が行われ、様々な意見が出ることで改善点が明確となってきた。今後は意見の内容を中長期に分け、改善に取り組んでいく。また、施設や授業使用機材についてもDX化に伴い徐々に取り入れてきたが、改新する必要があるもの無いものを職員全体で協議し、より学生のホスピタリティマインド育成を目指していく。